万国の労働者団結せよ！　万国の労働者と被抑圧民族団結せよ！

（毎月２回１日・15日発行）1969年12月20日第３種郵便物認可

2018-8-1-15
No.1027 400円

思想運動

活動家集団 思想運動
発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区本郷３の29の10 飯島ビル１階 ☎03・3818・6671 FAX03・3818・3199（郵便振替）00190-0-758235
小川町企画・関西連絡先 ☎080・4700・6461
HP http://www.shiso-undo.jp/
購読料：年間6,000円 半年3,000円（送料共）

沼の中

濱口國雄

今日も、重い年月の時間を裂いて、花田一等兵の声と手が、僕の鼓膜と眼球に、救いを求めて迫ってくる。

沼の中では、泉が音もなく湧いていた。泉は透明で、餓えた兵士を誘い入れた。
兵士は、沼の深さも考えず　水をもとめ、どぶどぶ沼に入っていった。
沼は底無し沼だった。

沼には　兵士の死体が腐爛していた。腐爛した死体から、蛆が溢れ、透明な水の中でもだえていた。

沼の中から　助けを求めていたのは　花田一等兵だった。

あがきの指を　虚空に残し　沼に沈んでいった　花田一等兵の死を確認したのは　沼の淵に、餓死寸前の身を横たえていた　僕であった。

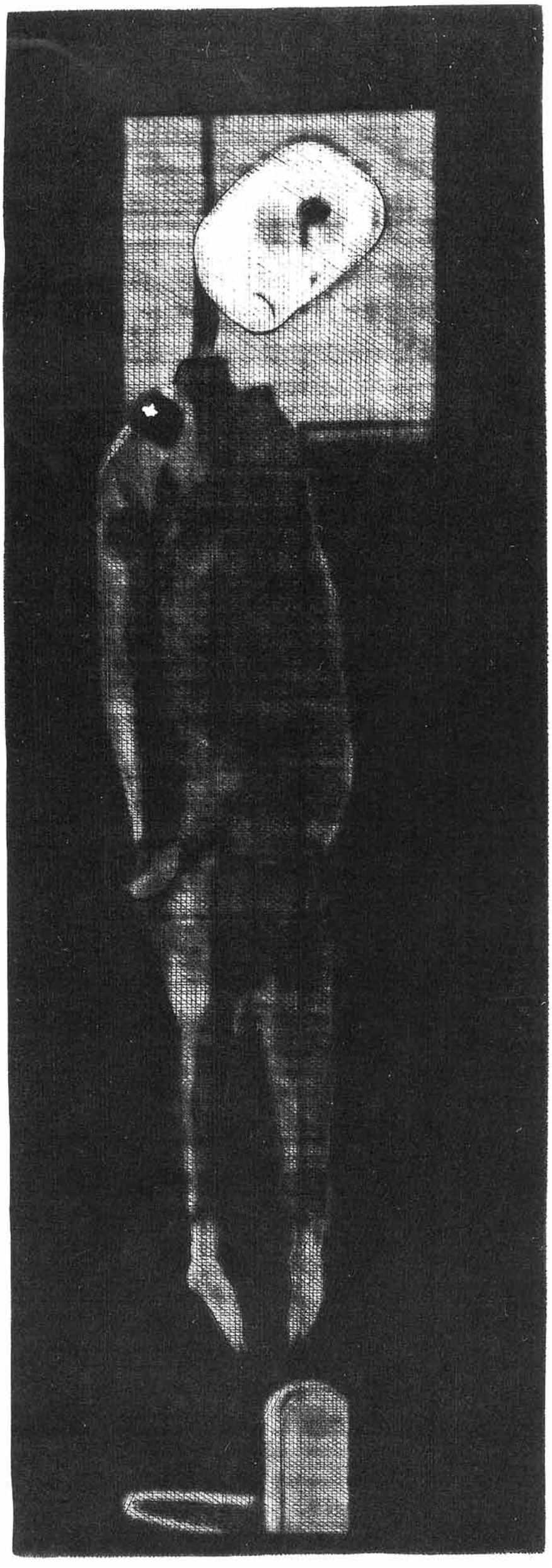
花田一等兵の皮膚が、日々変色し、眼球に蛆がわき、腐爛していく状態を、確認しつづけていたのも、僕であった。

明日は　八月十五日である。
腐爛し蛆に喰われた　花田一等兵に　勲八等旭日章が叙勲され　上等兵に昇進した花田上等兵が　明日の敗戦記念日を、パプア島ヤカチの、沼の中で迎えるのだ。

仏壇に飾ってある、勲八等旭日章の、白銅のにぶい光を　蛆に喰われた眼球で、花田上等兵よ、しかと受けとめよ。

明日は、八月十五日。敗戦記念日である。

（一九六九年十月『笛』八二号に初出。『濱口國雄詩集』土曜美術印刷社刊　所収）



画＝浜田知明＜初年兵哀歌（便所の伝説）＞1951年（関連記事11面）

9・4 講演会

「朝鮮半島問題をめぐる運動の課題
――「北朝鮮脅威」論・日本社会に刺さった〝トゲ〟をどう克服するか」への参加を！
（講演＝浅井基文、主催＝壊憲ＮＯ！96条改悪反対連絡会議、詳細７面）

西日本豪雨被災者と和歌山朝鮮初中級学校への救援カンパに協力を
（詳細８面）

おもな内容

〈活動家集団 思想運動〉第50年度総会報告「社会主義こそが未来だ！」（広野省三）……2～5面
〈政治〉〈エッセイ〉＝「辺野古のたたかいは、極めて重要な局面に」（目取真俊）
〈エッセイ〉＝「今こそ歴史の学習を」（石川逸子）／「沖縄反基地　首都圏の取り組み」……6～7面
〈国際〉ギリシャ・アッティカの大火災／〈国際短信〉新自由主義に反対するアルゼンチン 他……8面
〈婦人〉「日の丸・君が代」再雇用拒否訴訟（永井栄俊）／幼児教育「無償化」の正体（村上理恵子）……9面
〈文化〉〈演劇時評〉燐光群公演「九月、東京の路上で」（高橋省二）／写針詩……10面
〈文化〉〈追悼＝浜田知明〉「代表作『よみがえる亡霊』――その鮮烈」（金山明子）……11面
〈文化〉〈笑い草〉／〈紙つぶて〉／〈映画評〉『人間機械』（井野茂雄）……12面